

**明日の選挙**  
2007  
統一地方選

## 豊橋市区

# 現職4氏が議席死守

## 民主躍進、自民と分け合う

第16回統一地方選の前半戦となる県議選の投開票が8日行われ、東三河の豊橋市、豊川市、新城市・北設楽郡、田原市の4選挙区の計9議席が決まった。豊橋市(定数5)では小久保三天(自民)かしわぐま光代(民主)鈴木孝昌(自民)渡会克明(公明)の現職4氏が議席を守り、民主新人の浅井由崇氏が県議選3度目の挑戦で念願の議席を手にし、自民と民主が2議席ずつを分け合う結果になった。豊川市(定数2)では、民主新人の鈴木彰伯氏が、トップ当選。現職の山本和明氏(自民)が9回目の当選を果たし、現職の高柳淳子氏(無所属)が涙を飲む結果になり、自民と民主は豊川でも議席を分け合う形になった。4氏が乱立した新城市・北設楽郡では無所属新人の峰野修氏が激戦を制し、初当選。また自民と民主の一騎打ちの構図になっていた田原市では現職の鈴木恩氏(自民)が新人を退けた。投票率は豊橋市が47・07%、豊川市が49・84%、新城市・北設楽郡が67・48%、田原市が51・36%だった。(2、11面に関連) (本多亮)



バンザイする渡会氏と恵子夫人